



「今できる課題から 取り組むことが大切です」

鈴運メンテック株式会社

代表取締役社長 若月 裕之さん

企業が利潤追求だけではなく、社員の幸福や地域社会との共生などを目指すことが求められる時代になりました。このコーナーではSDGsに取り組む企業をご紹介します。これから取り組む企業の皆さんは、ぜひ参考にしてください。

鈴運メンテック(株)は昭和43年の

設立以来、半世紀以上も宇都宮市を中心にビジネスを展開しています。事業内容は、高速道路など、交通インフラの要となる道路の保全作業を行う「道路メンテナンス」と、一般廃棄物や産業廃棄物など、生活や事業活動にもなつて生じる「廃棄物の収集・運搬」を柱として、その他にも運輸・倉庫・ハイウェイショップ運営などさまざまな事業を手がけています。

「私どもは道路保全や廃棄物関連など、地域社会との関わりが深い事業を主としていますから、もともとと環境問題などには積極的に対応してきました」
そう話すのは、同社の若月裕之社長です。

「先代の会長の時代から、社員やその家族の健康についてもしっかりと取り組んできました。その風土が今も息づいています」

そんな同社が取り組むSDGsとは——それは「従業員の健康」です。「令和2(2020)年に

栃木県に『とちぎ禁煙推進施設』

として登録しました。それまでも喫煙問題には力を入れてきましたが、この制度に当てはめる形で取り組むことにしました」

同時に「健康長寿とちぎづくり推進県民会議」に登録をし、「健康診断の100%受診(事後のフォローも含む)」「全事業所で禁煙対策を実施」の2点を宣言しました。

「協会けんぽの『とちぎ健康経営事業所』の認定を受けたのが同年8月。ここでも『健康診断の100%受診』『受動喫煙対策を含む禁煙』の2項目を宣言しました」

社内への浸透と現状何を優先すべきかを考慮し、健康診断と禁煙の推進の2点に絞ったそうです。

この2点以外にも社員の健康のためにさまざまな取り組みをしています。

「全社員に、毎年インフルエンザの予防接種を行っています。新型コロナウイルス関連でも、希望者全員がワ

クチン接種を受けられるように各種団体を通じて、職域接種を行うなどさまざまな取り組みを行いました」

また道路メンテナンスなど屋外での作業は、夏場の熱中症対策は不可欠。作業員に空調服を支給するなど、従業員の健康に配慮しています。

「SDGsも県の制度に登録しています。重点的に取り組んでいるのは二酸化炭素排出量の削減(目標値10%削減)、地域貢献活動、そして社員への健康投資による生産性向上と組織の活性化です。社員への健康投資は、健康経営の継続と推進を指標としています」

社長自らが禁煙外来に通院し、禁煙を達成するなど従業員にその姿勢を見せたことにより、従業員の喫煙率も当初の3分の1に減少、徐々にその成果が上がっています。健康診断で、再検査などの結果が出た社員には1カ月以内の受診を促すなどフォローアップにも力を入れてい

ます。

「社員の健康は、どんな企業でも重要ですが、掛け声だけではなかなか達成できないでしょう。どうしたら達成できるかを会社全体で考えながら、今後も進めていきたいと考えています」



「私も率先して禁煙しました」と話す若月裕之社長



鈴運メンテック(株)本社社屋
県内に事業所が9カ所あります

鈴運メンテック株式会社

代表取締役会長 若月章男

代表取締役社長 若月裕之

業種/サービス業

ISO9001/ISO14001認証取得

〒320-0857

栃木県宇都宮市鶴田2-2-10

028-648-6241(代)

<http://www.suzun.co.jp>